

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	OECD/GSF分担金		<b>担当部局</b>	科学技術・学術政策局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度・なし		<b>担当課室</b>	科学技術・学術戦略官(国際担当)付		科学技術・学術戦略官(国際担当) 長野 裕子		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	科学技術・学術政策の総合的な推進 VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	第4期科学技術基本計画				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際的な知的公共財の創出や地球規模課題の解決に資する科学技術協力を国際機関への拠出を通じて行い、我が国の科学技術の戦略的推進を図る「国際機関への拠出等」のうち、「OECD/GSF分担金」は、経済協力開発機構(OECD)/グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)において、我が国から提案した「気候変動適応及び生物多様性分野における先進国と途上国との科学技術協力」をはじめ、各国から提案のあった「科学的助言の質確保における科学者の役割と責任」、「大規模研究インフラのインバクト」等の活動に参画・寄与することにより、当該分野における包括的な知見の獲得等を目指す。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	特定の科学分野における新しい国際協力機会の模索や、国内及び域内の重要な科学政策決定に活用可能な国際的な枠組の構築、地球規模の問題に対する科学的側面からの検討など、OECD/GSFの活動を推進するための経費を分担する。これまでの国際的な枠組の構築の一例として、GSFの議論を踏まえて創設された地球規模生物多様性情報機構(GBIF)が挙げられる。GBIFは生物多様性に関するデータを収集し、全世界的に利用することを目的に創設された科学プロジェクトであり、世界各国の研究者が関与する重要なものとなっている。このような意義のあるプロジェクトの創設につながる議論を行う場として、GSFは重要な役割を果たしている。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	10	9	9	10	
		繰越し等	-	△1	△0	-		
		計	-	9	9	9	10	
	執行額	-	9	9				
	執行率(%)	-	100.0%	98%				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は特定の科学分野における新しい国際協力機会の模索や、国内及び域内の重要な科学政策決定に活用可能な国際的な枠組の構築、地球規模の問題に対する科学的側面からの検討などの国際協力機会の拡大及び情報共有を目的としているため、定量的な指標による評価になじまない。			成果実績	-	-	-	-
				達成度	%			
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	OECD内部での調査、情報交換、情報分析の活動実績については、定量的な指標による評価になじまない。なお、これまでに、OECD/GSFでは、「国際研究の公正性確保」、「複雑系科学の政策活用事例研究」、「大型研究施設のロードマップ分析」等の議論が行われている。			活動実績(当初見込み)	人	( )	( )	( )
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠	アウトカム、アウトプットとも定量的な指標がないため算出不可				
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	経済協力開発機構国際機関分担金	9百万円	10百万円					
	計	9百万円	10百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、OECD/GSFの活動に参画・寄与することにより、包括的な知見の獲得等を目指すニーズの高い事業であり、国が実施すべきである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	当初の目的どおり、OECD/GSFの分担金として使用された。本事業による分担金に運営経費以外の用途はない。これまで我が国から提案した「気候変動適応及び生物多様性分野における先進国と途上国との科学技術協力」をはじめ、各国から提案のあった「科学的助言の質確保における科学者の役割と責任」、「大規模研究インフラのインパクト」等の活動に参画・寄与した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	OECD/GSFの年2回の定期会合に我が国の政府職員及び研究者が出席して活発な意見交換を行い、各国の科学技術政策について情報収集を行い、政策立案に活用した。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業は、OECD/GSFの活動に参画・寄与し包括的な知見の獲得等することを目的とし、OECD/GSFの分担金として使用されており、本事業を通じ、各国から提案のあった「科学的助言の質確保における科学者の役割と責任」、「大規模研究インフラのインパクト」等の活動に参画・寄与するなど一定の成果があがっており、今後も本事業を継続することが重要である。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：当該事業は、特定の科学分野における新しい国際協力機会の模索や、国内及び域内の重要な科学政策決定に活用可能な国際的な枠組の構築、地球規模の問題に対する科学的側面からの検討など、OECD/GSF会合の活動を推進するための経費を拠出する事業である。</p> <p>2. 所見：当該事業は、OECD/GSF会合の活動を推進するための経費を分担する事業であり、事業規模の適正化やコスト削減に留意しつつ、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	本事業の分担金は、各国のGNP比率等によって決定されたものであるが、我が国がOECD/GSFの活動計画策定に積極的に関与する等により、我が国にとって有益なインプットを行っていく。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0200	平成23年	0036	平成24年	0217

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省  
(9百万円)

経済協力開発機構(OECD)/グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)において、我が国から提案した我が国から提案した「気候変動適応及び生物多様性分野における先進国と途上国との科学技術協力」をはじめ、各国から提案のあった各国から提案のあった「科学的助言の質確保における科学者の役割と責任」、「大規模研究インフラのインパクト」等の活動に参画・寄与することにより、当該分野における包括的な知見の獲得等を目指す。



[拠出]

【A】 経済協力開発機構(OECD)/  
グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)  
(9百万円)

「気候変動適応及び生物多様性分野における先進国と途上国との科学技術協力」をはじめ、「科学的助言の質確保における科学者の役割と責任」、「大規模研究インフラのインパクト」等々の取り組みを実施。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)

(単位:百万円)

A.経済協力開発機構(OECD)/ グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	OECD/GSFの活動を推進するための経費	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	経済協力開発機構(OECD)/グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)	経済協力開発機構(OECD)/グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)の活動を推進するための経費	9	-	-

※拠出金のため、入札者数および落札率は「-」としている。